

論文審査の要旨

報告番号	①・乙 第 2700 号	氏名	廣澤 槇子
論文審査担当者	主査 小口 勝司 教授 副査 高橋 春男 教授 副査 泉崎 雅彦 教授		
(論文審査の要旨)			
<p>本研究は、NSAIDs の血液から涙液への移行について涙液中濃度の高感度迅速測定法を開発し、検討を行ったものである。被験者として日本人健康成人 6 名に対し、イブプロフェンおよびロキソプロフェンナトリウムを、休薬期間を 1 週間としてクロスオーバーデザインにて経口単回投与を行う臨床試験を実施した。</p> <p>イブプロフェンの最高涙液中薬物濃度は投与後 3 時間後であり、涙液/血漿比は 0.0088、ロキソプロフェンの最高涙液中濃度は投与後 30 分であり、涙液/血漿比は 0.0562 だった。</p> <p>本研究により、超高速液体クロマトグラフィー-タンデム MS を用いて微量試料からイブプロフェンおよびロキソプロフェンの高感度な定量解析法の開発を行うことができた。さらには本定量解析方法を用いて実際のヒト涙液および血漿を分析することにより、NSAIDs は血漿中から涙液中へ移行することが確認でき、NSAIDs 服用による霧視等の副作用発現の可能性が明らかとなった。</p> <p>これらの研究成果は新しい知見であり、学術上価値のあるものと判断した。</p>			
論文題名 : Determination of nonsteroidal anti-inflammatory drugs in human tear and plasma samples using ultra-fast liquid chromatography-tandem mass spectrometry (イブプロフェンとロキソプロフェンナトリウムの経口投与後の健康成人における涙液中および血中薬物動態の比較)			
掲載雑誌名 : The Japanese Journal of Ophthalmology			
Published online: 19 June 2015			

(主査が記載、500 字以内)